

性の多様性についてのアンケート結果

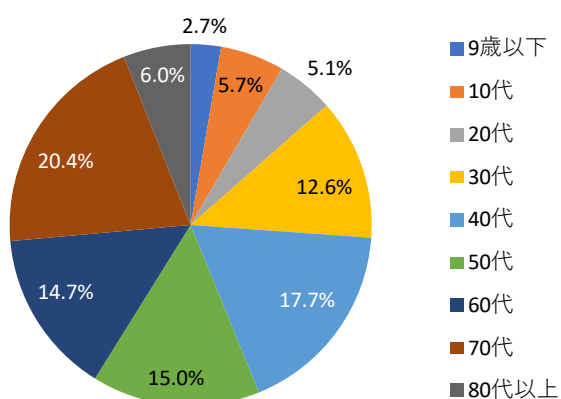
実施日：令和7年11月8日（土）（第17回村山デエダラまつり1日目）

回答総数：333人

① あなたの年代は (単位：人)

～9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	未回答等
9	19	17	42	59	50	49	68	20	0

年代（割合）



② 性別 (単位：人)

男性	女性	どちらでもない	答えたくない	未回答等
116	216	0	1	0

③ お住まい (単位：人)

武蔵村山市	立川市	東大和市	瑞穂町	その他・未回答等
218	26	23	7	59

- ④ 性の多様性に関することばについて、内容まで知っているもの・見たり聞いたりしたことがあるもの (複数回答可)

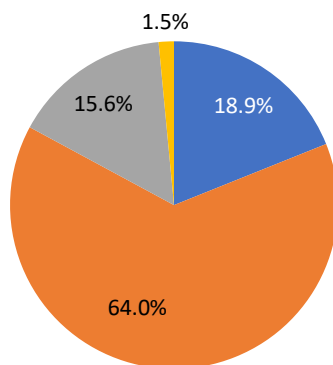
	回答数		割合		認知度
	知っている	見たり聞いたりしたことがある	知っている	見たり聞いたりしたことがある	
レズビアン	79	199	23.7%	59.8%	83.5%
ゲイ	75	198	22.5%	59.5%	82.0%
バイセクシュアル	49	138	14.7%	41.4%	56.2%
パンセクシュアル	10	55	3.0%	16.5%	19.5%
アセクシュアル	7	28	2.1%	8.4%	10.5%
クエスチョニング	14	22	4.2%	6.6%	10.8%
トランスジェンダー	47	142	14.1%	42.6%	56.8%
X (エックス) ジェンダー	11	43	3.3%	12.9%	16.2%
ノンバイナリー	12	15	3.6%	4.5%	8.1%
F t M (エフティーエム)	6	14	1.8%	4.2%	6.0%
M t F (エムティーエフ)	5	16	1.5%	4.8%	6.3%
セクシュアル・マイノリティ	27	81	8.1%	24.3%	32.4%
S O G I (ソジ/ソギ)	9	18	2.7%	5.4%	8.1%
アライ	11	11	3.3%	3.3%	6.6%
L B G T Q	32	72	9.6%	21.6%	31.2%

※割合・認知度は、n=333 で計算

- ⑤ あなたの周りに当事者はいますか (単位：人)

いる	いない	わからない・答えたくない・どちらでもない	未回答等
63	213	52	5

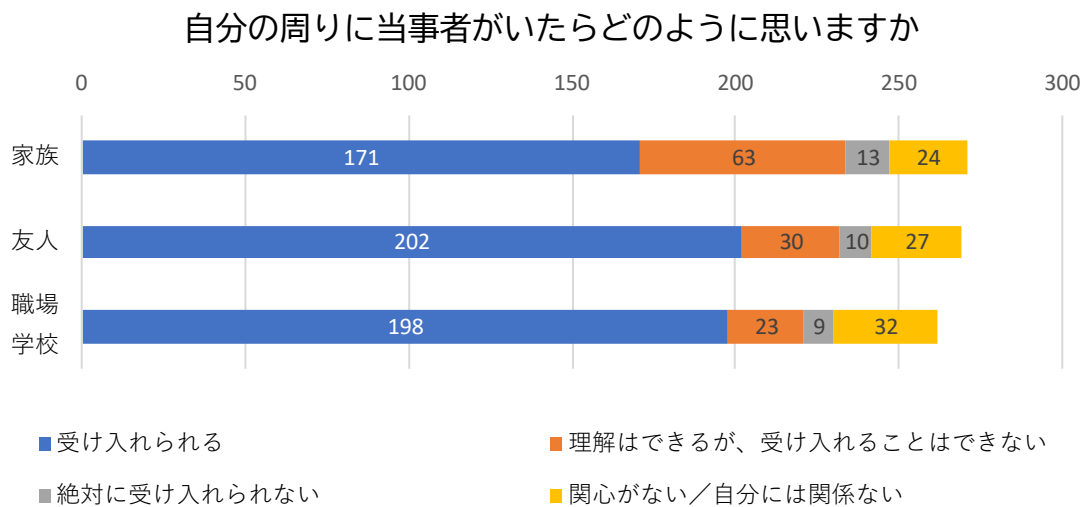
あなたの周りに当事者はいますか (割合)



■ いる ■ いない ■ わからない・答えたくない・どちらでもない ■ 未回答等

⑥ 自分の周りに当事者がいたらどのように思いますか

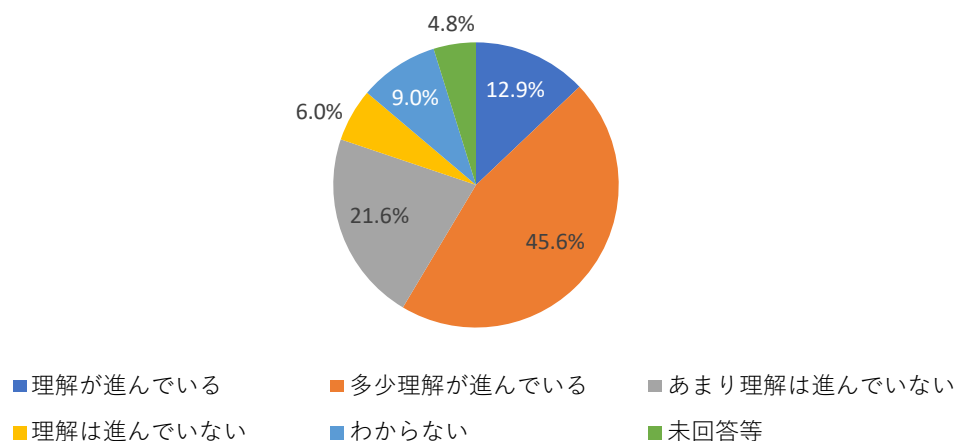
		受け入れられる	理解はできるが、受け入れることはできない	絶対に受け入れられない	関心がない／自分には関係ない	未回答等
家族	回答数	171	63	13	24	62
	割合	51.4%	18.9%	3.9%	7.2%	18.6%
友人	回答数	202	30	10	27	64
	割合	60.7%	9.0%	3.0%	8.1%	19.2%
職場 学校	回答数	198	23	9	32	71
	割合	59.5%	6.9%	2.7%	9.6%	21.3%



⑦ 社会全体における性の多様性について理解は進んでいると思いますか (単位：人)

理解が進んでいる	多少理解が進んでいる	あまり理解は進んでいない	理解は進んでいない	わからない	未回答等
43	152	72	20	30	16

社会全体における性の多様性について理解は進んでいると思いますか (割合)



- ⑧ 性の多様性、LGBTQ支援としてどのような支援が必要だと思いますか（複数回答可（最大3つまで））

支援	回答数	割合
周知するための勉強会、イベント、意識調査等	117	35.1%
支援者（アライ）の育成、支援団体への支援	49	14.7%
職場の受け入れ体制	153	45.9%
当事者の居場所づくり	125	37.5%
行政職員や教育機関職員の研修	37	11.1%
行政主体のポスター掲示、市報掲載など	33	9.9%
教育現場での性の多様性についての授業や講演会	77	23.1%
社会制度の見直し（民法、パートナーシップ条例、証明書など）	73	21.9%
専門相談窓口の設置	60	18.0%
その他	4	1.2%

※割合は、n=333 で計算

「その他」の内訳…興味ないからわからない（1件）、わからない（1件）、
だめ（1件）、どちらでもよい（1件）

- ⑨ 東京都では令和4年から「東京都パートナーシップ宣誓制度」が施行されています。武蔵村山市民も利用できることをご存じですか

知っている	48 人	14.4%
制度があることは知っているが、利用できることは知らない	66 人	19.8%
知らない	198 人	59.5%
未回答等	21 人	6.3%

- ⑩ パートナーシップ制度は必要だと思いますか

必要	157 人	47.1%
不要	13 人	3.9%
どちらでもない・わからない	145 人	43.5%
未回答等	18 人	5.4%

～性の多様性についてのアンケート～

本日は、協働推進課ブースにお立ち寄りくださり、ありがとうございます！

① あなたの年代は？ → ○をつけてください

～9歳 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代～

② 性別 → ○をつけてください

男 女 どちらでもない 答えたくない

③ お住まい → ○をつけてください

武蔵村山市 立川市 東大和市 瑞穂町 その他() 区市町村)

④ 性の多様性に関することばについて、内容まで知っているものに◎(ニジュウマル)、見たり聞いたりしたことがあるものに○(マル)、をつけてください

レズビアン		ゲイ		バイセクシュアル	
パンセクシュアル		アセクシュアル		クエスチョニング	
トランスジェンダー		X(エックス)ジェンダー		ノンバイナリー	
FtM(エフティーエム)		MtF(エムティーエフ)		セクシュアル・マイノリティ	
SOGI(ソジ/ソギ)		アライ		LGBTQ(エルジービーティーキュー)	

⑤ あなたの周りに当事者はいますか。 → ○をつけてください

いる		いない		わからない・答えたくない・ どちらでもない	
----	--	-----	--	--------------------------	--

⑥ 自分の周りに当事者がいたらどのように思いますか。 → ○をつけてください

	家族	友人	職場 学校
受け入れられる			
理解はできるが、受け入れることはできない			
絶対に受け入れられない			
関心がない、自分には関係ない			

⑦ 社会全体における性の多様性について理解は進んでいると思いますか。
当てはまるところに○をつけてください。

理解が進んでいる	
多少理解が進んでいる	
あまり理解は進んでいない	
理解は進んでいない	
分からない	

(裏へ続く)

- ⑧ 性の多様性、LGBTQ支援としてどのような支援が必要だと思いますか。
必要だと思う支援(最大3つまで)に○をつけてください。

周知するための勉強会、イベント、意識調査等	
支援者(アライ)の育成、支援団体への支援	
職場の受け入れ体制	
当事者の居場所づくり	
行政職員や教育機関職員の研修	
行政主体のポスター掲示、市報掲載など	
教育現場での性の多様性についての授業や講演会	
社会制度の見直し(民法、パートナーシップ条例、証明書など)	
専門相談窓口の設置	
その他 ※ご自由に記入してください	

- ⑨ 東京都では令和4年から「東京都パートナーシップ宣誓制度」が施行されています。
武蔵村山市民も利用できることをご存じですか。→ ○をつけてください。

知っている	
制度があることは知っているが、 利用できることは知らない	
知らない	

※パートナーシップ制度とは
各自治体が同性同士のカップルを婚姻に相当する
関係として認め「証明書」を「発行」する制度

- ⑩ あなたは、パートナーシップ制度は必要だと思いますか。→ ○をつけてください。

必要	
不要	
どちらでもない・わからない	

- ⑪ パネル展示に関して意見等があればご自由にお書きください。

--

ご協力、ありがとうございました！
武蔵村山市 協働推進部 協働推進課

※ 質問④(表面)の答え(ことばの意味)はこちら→



～ 性の多様性に関することば(用語集) ～

レズビアン (Lesbian)	女性として女性を恋愛や性的な対象とする人。女性同性愛者。
ゲイ (Gay)	男性として男性を恋愛や性的な対象とする人。男性同性愛者。広義では同性愛者全般を意味する場合もある。
バイセクシュアル (Bisexual)	恋愛・性的指向が複数の性(男性・女性)に向けられる人。両性愛者。
パンセクシュアル (Pansexual)	恋愛・性的指向が特定の性別に限定されず、あらゆる性に向けられる人。
アセクシュアル (Asexual)	性的指向がない、または他者に性的な興味や欲求を持たない人。
クエスチョニング (Questioning)	自分の性的指向や性自認が分からない、決められない、又は決めない人。
トランスジェンダー (Transgender)	出生時に割り当てられた性別とは異なる性自認を持つ人。身体や法律的性別を変更する人もいれば、変更しない人もいる。
Xジェンダー	男性でも女性でもない性自認を持つ人。
ノンバイナリー (Non-binary)	男性・女性という二元的な性別にとらわれない性自認を持つ人。「Xジェンダー」に似た意味だが、より広範な国際的な用語。
FtM (Female to Male)	出生時に女性として判定され、性自認が男性である人。
MtF (Male to Female)	出生時に男性として判定され、性自認が女性である人。
性的マイノリティ (セクシュアル・マイノリティ)	「出生時に判定された性別と性自認が一致し、かつ、性的指向は異性」というパターンではない人の総称。性的少数者。
SOGI(ソジ/ソギ)	性的指向(Sexual Orientation)と性自認(Gender Identity)の頭文字をとった言葉。性的指向とは、人の恋愛感情や性的な関心がいずれの性別に向かう(向かわない)のかを示す概念であり、性自認とは、自分がどの性別である(ない)と認識しているのかを示す概念である。
アライ (Ally)	性的マイノリティ(性的少数者)の人々を支持し、理解し、連帯する立場の人。そのコミュニティに属さなくても協力をする人。
LGBTQ (エルジービーティーキュー)	性的マイノリティ(性的少数者)を表す言葉の一つで、レズビアン(Lesbian)、ゲイ(Gay)、バイセクシュアル(Bisexual)、トランスジェンダー(Transgender)の頭文字LGBTに、クエスチョニング(Questioning)、クィア(Queer。規範的ではないとされる性の在り方を包括的に表す言葉)の頭文字Qを加えた言葉。

※この用語集は、性自認や性的指向についての理解を深めるための基本的な用語をまとめたものです。